

十和田湖湖水まつり2007

と き 7月14日(土)・15日(日) ところ 十和田湖畔休屋

イベント

- ▷花火大会 (2日間)
午後8時～午後9時 (約1時間)
- ▷バンド演奏 ▷よさこいの演舞
- ▷手漕ぎボートレース ▷湖上カーニバル船
など盛りだくさんです。

問い合わせ先

十和田湖湖水まつり実行委員会 (☎⑦2425)

十和田湖湖水まつり2007で メッセージ花火を打ち上げませんか?

あなたの思いを、花火にして伝えてみませんか?

例えば

- ▷お父さんお母さんへの感謝の気持ちを
- ▷好きな人への告白に
- ▷結婚のプロポーズに

費用 20,000円から (税別)
申込締め切り 7月10日(火)

申し込み先

十和田湖湖水まつり実行委員会へ
(☎⑦2425)



十和田湖「湖畔の乙女」 「奥入瀬大滝の歌」を歌う集い

「第13回乙女の像さわやかフェスティバル」の式典でいっしょに歌いませんか!

と き 7月14日(土) 午前11時～

※十和田湖休屋湖畔乙女の像前に午前10時30分集合。当日無料送迎バス(定員70人、先着順)があります。市役所本庁前に午前8時に集合してください。

費用 1,000円(運営費、昼食代を含む)

申し込み方法 はがきまたはFAXで、申し込み者全員の氏名と返信先代表者の住所、氏名、電話番号、バス利用の有無を記入して申し込んでください。前日宿泊(1泊2食付き)を希望するかたは、8,000円で受け付けています。

申込期限 7月7日(必着)

※当日、楽器で参加希望のかたは、楽譜の申し込みをしてください。

申し込み先

〒034-0087
十和田市西十五番町5-21
「歌い継ぐ会」事務局
小笠原敏夫あてへ
(☎・FAX③3794)



ごみの分別について

日ごろから、ごみ分別へのご協力、ありがとうございます。今回は、市民の皆さんからのお問い合わせの多い「ペットボトル・生ごみ・草」と、破裂や火災の危険性のある「スプレー缶・カセットボンベ」の出し方について確認してみましょう。

1 ペットボトルは「2分別」に

- ペットボトルの「キャップ」は、ペットと性質の違うポリエチレンなどが使われています。「ラベル」と「キャップ」は取り外し、「プラスチック製容器包装」として分別してください。
- ◆しょうゆボトルの中ふた、焼酎の取っ手など外すのが難しいものは、そのままペットボトルとして出してください。
- ◆紙製容器やビン、缶などで、油や化粧品など水洗いで落ちない汚れがついている場合は、それぞれ「燃えるごみ」「燃えないごみ」として出してください。



2 「生ごみ」は水切り、「草」は乾かして

- 生ごみも草も「燃えるごみ」として焼却されていますが、水分が多く含まれているごみは燃えにくくなります。生ごみを出す前に、水切りをしてください。
- 草についても、除草した直後は水分がたくさん含まれています。日光に数日さらすだけでかなり乾燥し、ごみの減量にもつながります。
- ◆草に付着した土は、よく取り除いてください。
- ◆一時的に多量に出た場合は、直接、清掃工場に搬入してください。(有料)

3 「スプレー缶・カセットボンベ」は使い切ってから穴を開けて

- スプレー缶やカセットボンベなどに、ガスが残ったままだと熱や収集の圧力などで、爆発することがあります。
- 収集車両や処理施設で火災事故も起きていますので、穴あけ用の器具やクギなどで必ず穴を開けてください。
- ◆穴あけは、火の気のない屋外で行ってください。



4 「ごみ集積所」の看板や家庭配布の「ごみカレンダー」で確認を

- 分別やごみの出し方が不十分だと、収集されずに集積所に残されてしまうことがあります。集積所や周辺が汚くなり、景観も良くありません。
- お互いに不快な思いをすることのないよう、今一度、ごみ集積所の看板、ごみカレンダー、市役所のホームページなどで確認し、ルールを守ってゴミを出しましょう。

問い合わせ先

ごみの分別・出し方については 生活環境課 (☎③5111内線225・226)
ごみの収集については 十和田地域広域事務組合業務課 (☎③2654)